

## 1 概要

- (外交)11日、カリオラ・チリ下院議長らチリ議員団が、中国を公式訪問。
- (外交)15日、バン・クラベレン外相は、訪智したハンガリー外相と外相会談を実施。
- (外交)17日、ポリッチ大統領は、パラグアイを訪問し、首脳会談等を実施。
- (内政)23日、中道右派「独立民主同盟党(UDI)」のマカジャ党首が辞任。
- (内政)29日、4月にビオビオ州で発生した警官殺害事件の容疑者3名を逮捕。
- (外交)29～30日、ポリッチ大統領は、UAEを公式訪問し、首脳会談を実施。

## 2 内政

### (1)極左勢力拠点への家宅捜索と武器の押収

7月6日、カラビネロス(当地軍警察)は、昨年12月に発生した警察車両等を対象とする爆発物事件の捜査のため、サンティアゴ市内の6カ所を対象として家宅捜索を行った。このうち、エスタシオン・セントラル区のビジャ・フランシア地区のラジオ局と食堂からは、自動小銃や拳銃、弾薬、防弾チョッキなど多数の武器が発見され押収された。カラビネロスによれば、押収された武器の中には、南部地域で発生している暴力事件で使用された武器と一致するものがあるとのことである。

### (2)チリ産品の輸出動向

ア 7月2日付当地報道によれば、中国がチリ産食料品の最大の輸出先となった。中国市場は、歴史的にチリの食料品輸出の主要輸出先であった米国に代わり、その輸出額は今年5月時点で25億6,700万米ドルに達する(ProChile(チリ外務省貿易振興総局発表)。この躍進は、チリ産サクランボのブームによってもたらされ、サクランボ輸出量の約9割が中国向けとなっている。なお、チリ産食料品の主要市場トップ5は、中国、米国に続き、日本(7億1,000万米ドル)、ブラジル(6億8,500万米ドル)、メキシコ(3億1,800万米ドル)となっている。

イ 7月8日付当地報道によれば、チリが29品目において世界最大の輸出国となった。チリは、昨年、29品目で世界最大の輸出国となった。チリが世界最大の供給国として位置付けられた製品としては、銅のほか、炭酸リチウム、生鮮サクランボ、サーモンフィレ、硫酸リチウム、冷凍アジ、ムール貝の缶詰、干しプラム等がある(チリ外務省国際経済関係次官官房(SUBREI)調査局報告)。

### (3) マカジャ独立民主同盟党(UDI)党首の辞任

7月23日、野党中道右派「独立民主同盟党(UDI)」のハビエル・マカジャ党首が辞任を表明した。昨年6月、マカジャ氏の父親が未成年者への性的虐待容疑により逮捕され、7月19日、懲役6年の判決が下された。これを受け、与党だけでなく、野党からも辞任圧力が強まっていた。

### (4) ポリッチ政権に関する世論調査(「Cadem」(7月第2週))

ア ポリッチ大統領の施政を評価するか。(括弧内は6月第4週の結果)

評価する	: 35%(34%)
評価しない	: 60%(59%)
どちらでもない	: 3%(4%)
わからない、無回答	: 2%(3%)

イ チリの次期大統領候補として誰が望ましいか。(括弧内は6月第2週の結果)

マテイ・プロビデンシア区長	: 19%(20%)
カスト氏	: 11%(14%)
バチェレ元大統領	: 9%(6%)
バジェホ内閣官房長官	: 3%(3%)
トア内務・治安大臣	: 2%(3%)

ウ 経済・社会の現状

(ア) チリは良い方向に向かっているか。

向かっている	: 30%(36%)
向かっていない	: 64%(60%)

(イ) チリ経済は現在発展しているか。

発展している	: 22%(29%)
停滞もしくは後退している	: 77%(69%)

### (5) 南部治安情勢

ア 7月29日、本年4月27日にビオビオ州で発生したカラビネロス(当地軍警察)の警官3名の殺害事件に関与したとされる3名が逮捕された。容疑者のうち2名はビオビオ州カニエテ市で、1名は首都圏州ウエチュラバ区でそれぞれ逮捕された。

イ 7月2日、チリ上院は、非常事態宣言の延長を承認し、同宣言の8月3日までの期限延長が決定された。対象範囲は、これまで同様、アラウカニア州全体、そしてビオビオ州のアラウコ県及びビオビオ県である。上院における審議において、トア内務・治安大臣は「南部地域における暴力事件は引き続き減少傾向にあり、今年上半期は前年比41%減である」と説明した。

### **3 外交**

#### **(1) 欧州**

ア 7月1日及び2日、カドリ・シムソン欧州委員会委員(エネルギー担当)がチリを公式訪問した。シムソン委員は、チリ滞在中、エネルギーについての重要な章を含む、チリEU改訂FTAの重要な役割を強調しつつ、EUとチリのエネルギー協力の強靱さを強調した。また、同委員は、チリの高官との会合において、両者にとって戦略的な焦点である水素の潜在的可能性を強調しつつ、クリーンエネルギー、電力網及び貯蔵における協力の深化の方法を模索した。

イ 7月15日、シーヤールトー・ペーテル・ハンガリー外務貿易大臣がチリを訪問し、バン・クラベレン外相と外相会談を実施した。両外相は、同会談において、チリEU改訂FTAや、チリが事務局を誘致しようとしている「国家管轄権外区域の海洋生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する条約(BBNJ条約)」などについて対話した。ハンガリーは本年7月から半年間、EU議長国を務める。また、両国は、2025年に外交関係樹立100周年を迎える予定である。

#### **(2) 対中関係**

カリオラ・チリ下院議長(チリ共産党所属)が率いる超党派のチリ議員団が、7月11日から中国を公式訪問し、北京市などを訪れた。チリ議員団は、全国人民代表大会常務委員長の趙樂際氏などの中国高官と会合を行った。今次訪問は、議員交流の強化を目的とするもので、治安対策や防災に関する技術、AI関連の科学技術などについて対話がなされた。

#### **(3) 中南米**

ア 7月17日、ボリッチ大統領は、パラグアイを訪問し、ペニャ・パラグアイ大統領と首脳会談等を実施した。両大統領は、ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン及びチリを陸路で接続する南米大陸横断回廊計画の重要性について対話したほか、チリ・パラグアイ企業会合を主催し、両国間の経済関係について取り組んだ。今次訪問には、バン・クラベレン外相、グラウ経済・振興・観光大臣、アレドンド文化・芸術・遺産大臣が同行した。

イ 7月28日にベネズエラにおいて実施された大統領選挙に関し、ボリッチ大統領は、翌29日深夜に自身のX(旧ツイッター)を更新し、「マドゥーロ体制は、公表された結果を信じることは困難であると理解しなければならない。国際社会、特にベネズエラ国外にいる何百万人のベネズエラ人を含むベネズエラ国民は、選挙証書及びプロセスの完全な透明性に加え、政府にコミットしていない国際立会人が真の結果を確認できるよう要請している。我々は、チリから、確認可能ではないいかなる結果も認めない」とコメントした。

#### (4)中東

ア 7月29日及び30日、ボリッチ大統領は、UAEを公式訪問し、ムハンマド・ビン・ザーイド・アール・ナヒヤーンUAE大統領と会談を実施した。同会談において、物、サービス及び政府調達への広範なアクセスを可能とし、貿易の相互の改善を可能とする包括的経済連携協定の書簡が交わされた。これは、チリが中東諸国と結ぶ最初の合意である。このほか、食料安全保障、宇宙科学、情報技術及び鉱業に関するMOUも署名された。また、鉱業、再生可能エネルギー、港湾インフラ及び食料産業分野におけるUAEからの投資誘致に向けた企業フォーラムが開催された。

イ 7月29日、チリ訪問中のバンドル・イブラヒム・アルホラエフ・サウジアラビア産業・鉱物資源大臣は、アウロラ・ウィリアムス鉱業大臣と会談を行った。会談において、両政府は水処理及び海水淡水化に関する共同技術グループを立ち上げ協力機会を探ることに合意した。今次サウジ訪問団の訪チリは、石油・ガスへの依存からより多様な経済への移行を目指すサウジアラビア政府による経済多角化計画の推進の一環である。

(了)